

憩いの庭

北新潟キリスト教会新聞 11
2018年2月25日(日)発行(季刊)

「主は私の羊飼い。
主は私を緑の牧場に伏させ、
いこいの水のほとりに伴われます。」
(旧約聖書・詩篇23篇1～2節)

「新しいいのち、新しい自分」 牧師・原山康伸
毎月第4火曜日午前10時から、7～8名が二句
ずつ投稿句を持ち寄り、教会の和室で四季折々の“憩
いの庭”を見やりながら俳句同好会が行われています。
冬枯れの 果樹をいたわり 御礼肥

過ぐる1月21日(日)ともに礼拝をおささげした
後、昨年の収穫に感謝してスモモ、ブルー、梅、
柿などの樹木に皆で御礼肥を施しました。

この冬はいつまでも積雪が消えず、ひとたび降り
やんでもすぐに雪となり、ことのほか雪の多い年で
した。 街埋もれ 迷路となりて 雪しまく

冬枯れの 物言わぬ庭 寒椿

長い冬の庭は無着色のモノ？ ンの世界で、陽射
しも影をひそめ、小鳥のさえずりも聞こえず、ただ
塀の片隅に紅い花を咲かせている寒椿がどこかいた
いたい風情に映ります。木々の根元には積み上げ
られた雪が残っていますが、ふと見上げると梅の木
の枝先に小さな蕾がふくらんできています。その横
には、記念樹にと一昨年植えられたマンサクが早く
も咲き始めました。

記念樹の マンサクの花 ひそやかに

自然の営みのなかにおりますと、あらゆる生命が
一定の生と死のサイクルをもって紡がれていること
に気付かされます。植物は長い冬を耐えながら、地
下茎や樹皮の内側において来たるべき季節に備えて
います。晩秋に樹木が紅葉し鮮やかな紅や黄に染ま
り、やがて落葉の時を迎えると同時に、芽吹きへの
準備をしています。

聖書は、「古い自分を脱ぎ捨てて、新しい人を着な
さい」(コロサイ人への手紙3章9,10節)と教えて
います。私たちは、私たちの罪深い性質からなかなか
脱出することが出来ません。しかし、キリスト



を通して与えられる罪の赦しと救いの恵み(キリス
トの義)によって、それが可能となるのです。日々
繰り返されるいのちの営みにおいて、様々な生きづ
らさや心の囚われから解放され、日々新しい霊的な
変革を経験させていただきましょう。キリストの義
によって、私たちは罪赦された喜びをもって生きる
ことができるようになるのです。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は
新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見
よ、すべてが新しくなりました。」
(コリント人への手紙 5章17節)



「暗闇に共にいてくださった神様」

教会員・日比野愛子

<つらい時期>

私が神様に会ったのは、人生で一番つらい時で
した。以前は、クラシックの音楽事務所で働いてお
りましたが、いろいろなストレスが重なり、突然家
から出られなくなり、不眠、人に会えない、腰痛、
過呼吸、涙が止まらなくなり、食欲も気力もなくな
り、仕事もできなくなり、死にたいと思う日々があ
りました。そんな中、歌の恩師が、健康回復の為に
歌を学び直さないかとおっしゃってくださいました。
ですが、当時極度のあがり症の私は人前で十分に実
力を発揮することができませんでした。おそらく人
の評価を恐れていたのかもしれませんが。

<回復への転機>

そのような状況の中あがり症の改善のために、以
前に聖歌隊のお仕事で一緒した教会で歌わせて頂
くお願いをしたところ、引き受けてくださいました。
そして、その教会で副牧師をしていた若い女性の先
生が『歌は神様に捧げるものだ』と教えてくれたの

です。その他に神様は、私たちのいのちや花や生き物や海や山、それらみんなを創り、誰も理解しえない苦しみ悲しみ、喜び過ち、すべてをご存じの上で愛してくださっている。心の深い暗闇を開放しようと、いつも赦しを与えようと待っていてくださる事を知りました。また、自分が絶対正しいという考え方が神さまの赦しを遠ざけ、イエス様を十字架につけてしまうような部分がある事を知りました。そのことが心を暗くし、固くしている事もわかりました。また神様は、今も生きておられ「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」(イザヤ書43章1,4節)とおっしゃり、「互いに愛し合いなさい」とおっしゃっています。

<回復の自覚>

人にはすぐには謝れませんが、すべてをご存じの神様の前には 謝ることが出来るようになり、それが祈りとなり、その事が分かった時から私のあがり症が少しずつ改善されてゆき、オーディションも受けられるようになり、プロのクラシック事務所の二期会にも所属できるまでになりました。そして、私を見捨てず忍耐強く支えてくれた両親や、周りの人々が私に注いでくれていた愛を、喜んで受け入れられるようになり感謝ばかりです。私が歌を歌う時「私は取るに足りない者ですが、今日ここに立たせてくださっているのはあなたの憐れみです。感謝します。私の存在を消して下さり、あなたの通り良き管としてあなたの栄光があらわされますように！」と必至に祈っています。すると不思議と緊張しませんが、自分で上手に歌おうとしたその瞬間から今でも緊張します。

<出会い>

受洗しようかと悩んでいた時に不思議な事がありました。イタリアに留学するために友人にお世話をお願いした所、その友人が3年前にクリスチャンになっていて、受洗の相談をしたところ「受洗したほうがいいよ！」と言われました。その他に別の友人に紹介して頂いた方もクリスチャンで「早く受洗したほうがいいですよ！」と言われ、その方の教会の

礼拝に出席したいとお話しした所、私のアパートの隣に受洗したばかりの音楽家がいらっしやるとの事で教会まで案内頂き、彼女の特別賛美を聴き、その方にも「受洗したほうがいいですよ！」と言われました。神様が生きておられ、私のことをここまで愛してくださっているなんてと本当に感動しました。

<不思議な体験>

結婚、出産のときも神様の不思議な体験がありました。日々小さな事にも神様の奇跡を見せていただき、喜びのときにも悲しみのときにも、御言葉と祈りに感動の涙とともに、主の御業を見させて頂いております。音楽家の主人と結婚でき、晩婚にも関わらず娘2人を授かり家族で賛美できる事は私にとって奇蹟です。私にとって、すべてを失ったと思っていた時、そこが実は、本当の新しい人生の出発点でした。うつを通して、家族の愛が回復し、本当の自分と出会うことができました。与えられている大切な時間を、愛を中心として生きてゆきたいと思っています。



<ご案内>

日曜礼拝(日) 午前10:30~12 ・どなたでも
教会学校(日) 午前 9:30~10 ・こどもたち
聖書の学びと祈り会(水)

午後7:30~9:00 ・学びと祈り

聖書を読む会(木) 午前10:30~12 ・初心者も
ほっと会(第2火) 午前9:30~11:30

楽しくおしゃべり「面倒だから、しょう。
聖句書道同好会(第3火) 午前10~12:00

心を静めてそれぞれの持ち味で・・・
俳句同好会(第4火) 午前10:00~11:30

春夏秋冬の恵みをことばにのせて・・・
こひつじ会(第2金) 午前10:00~11:30

幼児とお母さんのいこいの場に

〒950-3112 新潟市北区太夫浜2040-1

日本同盟基督教団 北新潟キリスト教会

025-259-4491 牧師・原山康伸

<ホームページ> <http://www.kitaniigata-church.com>

(旧・松浜キリスト教会、附属さんび園同窓会事務所)